

民衆の
声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

おなかの赤ちゃんとお母さんの健康のため

〈妊婦健康診査費用〉 補助回数を3回から5回に拡充!



近年、経済的な理由や就業などで妊婦健診が充分でない妊婦が増え、なかでも健診を全く受けず出産に臨む、いわゆる「飛び込み出産」は重大な課題となっています。母子の健康を守り、安心して出産を迎えるために、妊婦健康診査の重要性はますます高まっております。

横浜市では、妊娠届を区役所に提出した方に交付される母子健康手帳に、1回につき4千700円を補助する妊婦健康診査費用補助券を添付しております。

平成20年4月1日より、この補助券を3枚から5枚に拡充しました。

- ・4月1日以降に母子健康手帳の交付を受ける方：母子健康手帳を交付する際、補助券を5枚交付します。
- ・3月31日までに母子健康手帳の交付を受けた妊婦の方：4月1日以降に補助券を2枚追加で交付します。

(ただし、補助券の追加交付日時時点で既に出産している方を除きます)

◎お問い合わせ「こども青少年局 こども家庭課」
電話(077-1)24555
または「各区福祉保健センター」

がん対策が大きく前進!

◆市民病院では、平成20年4月からPET・CTによるがん検診を始めました。PET・CTは全身の検査が可能で、ほとんど苦痛がなく、短時間で検査できます。転移・再発したがんの発見やがんの正確な位置情報の把握に有効です。

◎お申し込み・お問い合わせ
《市民病院がん検診センター》
電話(333)1581

また、療養環境の向上を図るため、緩和ケア病棟の整備工事に着手し、21年3月に開床します。病床数は20床で全室個室となっており、患者家族の控室、台所等も整備されます。

◆乳がんと子宮がん検診の受診率向上のため、40・45・50歳の女性を対象として検診案内が個別に送付されます。

◆横浜市立大学では、身体的負担が少なく、高い治療効果が認められる重粒子線がん治療に携わる人材育成を推進しています。

平成20年2月13日から、横浜市会第1回定例会が開催され、平成20年度の予算審議が行われました。皆様から寄せられました声が多く反映されました。

皆様の声をかたちに!!

横浜市議会報告

アクション
レポート
VOL.108
発行：横浜市会公明党
政調会瀬谷事務所
瀬谷区三ツ境125-25
TEL 045-365-2054



公明党を代表して賛成討論に立つ加納議員 (H20.3.25/本会議場)

- 《賛成討論要旨》
- ①子育て支援施策の充実。
 - ②妊婦健康診査の費用補助拡充。
 - ③高齢社会の対応施策の充実。
 - ④道路特定財源の必要性。
 - ⑤地球温暖化対策の推進。
 - ⑥地域経済活性化と雇用の確保。

党を代表して賛成討論に立つ、平成20年3月25の本会議で、加納重雄議員が、平成20年度横浜市一般会計予算以下関連諸議案について、公明党横浜市会議員団を代表し、賛成する立場から意見を述べました。

平成20年度横浜市会定例会

特別委員会

◆**新型インフルエンザに万全の備えを!**
加納議員は、党を代表して「生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会」委員としてこの一年間、新型インフルエンザ対策の推進を、横浜市や国、検疫所や病院など、関係機関に訴えてきました。

その結果、横浜市の20年度予算に新型インフルエンザ対策事業費が増額され、発熱外来用テントや、ワクチン接種用注射器などの備蓄が大きく進みました。



検疫艇に乗船し水際対策について調査をする加納議員 (H20.4.16)

◆**意見書の提出も視野に!**
さらに、加納議員は、横浜から国へ新型インフルエンザ対策の推進を図るための「意見書」提出や、超党派での勉強会の開催を主張し、その取り組みに全力を注いできました。

過日、勉強会が開催され、国への意見書提出も5月30日から開催される平成20年第2回市会定例会に提出すべく準備が進んでいます。

新型インフルエンザ対策 市議有志が勉強会

新型インフルエンザについて考える横浜市議有志(約20人)の勉強会が発起人である加納議員の進行で4日、市会会議室で開かれた。

新型インフルエンザ研究の第一人者として知られる国立感染症研究所の岡田晴恵さんらが講演。強い毒性を持つ新型インフルエンザの脅威や早急な対策の必要性を呼び掛けた。



加納議員(左)の司会で勉強会が進められた (H20.4.4)